

記念能

望月

金子敬一郎



金子敬一郎生誕

五十年

金子亀五郎

百周年

大和屋本店創業

百五十年



平成三十年七月八日(日)午後四時始

大和屋本店「千寿殿能舞台」

第三十三回

松山喜多流能

主な出演者(重要無形文化財総合認定者)

シテ方 喜多流

友枝昭世(喜多流宗家預り・人間国宝)

金子匡一 金子敬一郎

大島政允 香川靖嗣 塩津哲生 粟谷能夫 出雲康雅

中村邦生 狩野了一 友枝雄人 内田成信 佐々木多門 大島輝久 友枝真也

塩津圭介 佐藤寛泰 金子龍晟

大島伊織

ワキ方 宝生流

宝生欣哉(ワキ方宝生流宗家)

小鼓方 幸流

曾和正博

笛方 森田流

杉 信太郎

大鼓方 葛野流

亀井広忠(葛野流家元)

太鼓方 観世流

小寺真佐人

狂言方 大蔵流

古川道郎 古川喜朗 佐々木泉

チケットお申込・お問合せ先

鑑賞券(全席指定)

12,000円 10,000円 8,000円(税込)

日本の宿 風姿花伝

大和屋本店

電話089-935-8880

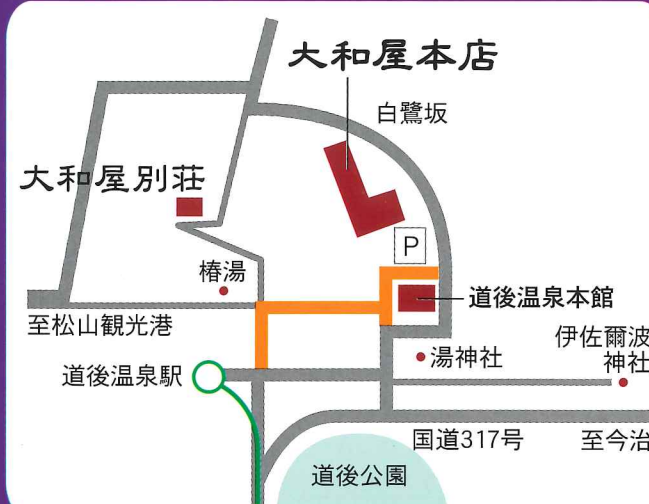
大和屋150周年記念お食事会
お一人様6,000円(税込)午後8時より

ご宿泊のご予約も承っております。

金子舞台

電話 089-931-6928

E-Mail kyou1@mac.com



主催 大和屋本店

金子匡一後援会・愛媛喜多会

愛媛新聞社 あいテレビ

後援 愛媛県・愛媛県教育委員会 松山市・松山市教育委員会

南海放送株式会社 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ

愛媛CATV 松山芸能文化協会 (公社)愛媛能楽協会

やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
許可無き者の演能中の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
駐車場のご用意はございません。公共交通機関でお越し下さいませ。

番組

… 解説 … 塩津圭介

仕舞

老松 金子匡一
箆 金子龍晟

舞囃子

高砂

友枝昭世

大鼓 亀井広忠 太鼓 小寺真佐人
小鼓 曾和正博 笛 杉信太郎

狂言

末広かり

シテ・果報者 古川道郎

アド・都の者 佐々木泉
アド・太郎冠者 古川喜朗

… 休憩二十分 …

仕舞

養老 大島政允
難波 香川靖嗣
岩舟 塩津哲生

能

シテツレ・友春の妻 大島輝久
子方・花若 大島伊織
シテ・小沢刑部友房 金子敬一郎

望月

ワキ・望月秋長 宝生欣哉

大鼓 亀井広忠 太鼓 小寺真佐人
小鼓 曾和正博 笛 杉信太郎

アイ・望月の従者 古川道郎

後見 塩津哲生 中村邦生
友枝雄人

地謡
金子龍晟 内田成信
塩津圭介 出雲康雅
佐々木多門 栗谷能夫
佐藤寛泰 狩野了一

附祝言

終了予定午後七時三〇分頃

金子亀五郎(かねこかめごろう)

明治8年松山生まれ(1875)。金子匡一の祖父。幼時より能楽をまなび、東雲神社神能で活躍し麒麟児と言われた。明治30年ごろ上京して十四世喜多六平太の内弟子となり、修業をへて、喜多流師範総取締となった。

大正7年(1918)6月12日没。



「望月」金子亀五郎

望月(もちづき)

信濃国の小沢刑部友房は都へ登っている時に、主君の安田庄司友春が従兄弟の望月秋長と口論になった結果、秋長から討ち取られ亡くなったことを知ります。友房は急ぎ都から信濃国へと戻ろうとしますが、望月の身内の者が、自分を狙っているのを伝え聞き、帰ることが叶いません。そして友春は近江国守山の宿に身を隠し、今は甲屋という宿の主人になつて日々を送っています。

ある日、故郷を追われて放浪の身となつていた望月秋長の一行がようやく審議が終わる信濃国へ下ります。そして道中で守山宿を訪れ、甲屋に泊まることとなります。友房は、主君の敵の望月が自分の宿に来たことを知って驚きます。まさに天の与えた機会と思ひ、友春の妻子に告げて仇討ちを計ります。

一方、友春を討つたことで都で裁きを受けていた望月秋長の一行がようやく審議が終わる信濃国へ下ります。そして道中で守山宿を訪れ、甲屋に泊まることとなります。友房は、主君の敵の望月が自分の宿に来たことを知って驚きます。まさに天の与えた機会と思ひ、友春の妻子に告げて仇討ちを計ります。

友房は、友春の妻子を盲目の女芸人と偽り、望月のいる座敷に上げ、自分は酒を持って宴を囲むと見せかけて、望月に近づきます。友春の妻が謡い、花若が鞆鼓を舞い、友房が獅子を舞うなどして芸を尽し、酒を飲ませて望月の油断を誘います。友房は、酔いもまわつて眠気がさした様子の望月を襲い、花若とともに斬り伏せて、仇討ちの本望を遂げます。